

2024年

12月号

No.513

日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

やすらぎ

TAKE FREE
ご自由にお持ち帰りください

I N D E X

- 手術支援ロボット ダビンチの導入と今後の展望について
- 公益財団法人JKA様より助成を受け訪問看護車両を購入しました
- 皆さまの声



『手術支援ロボット ダビンチの導入と今後の展望について』

第2外科部副部長
倉田 徹 くらた とおる

当院では、このたび最新の手術支援ロボットであるダビンチを導入しましたので、ご報告させていただきます。

外科領域では、従来の大きな傷で操作を行う開腹・開胸手術に加え、数カ所の小さな切開部からカメラや器具（鉗子（かんし））、電気メス・超音波メスなどをおなかや胸の中に入れて操作を行う腹腔鏡・胸腔鏡手術がさかんに行われています。腹腔鏡・胸腔鏡手術は、傷が小さく、出血も抑えられ、手術後の回復が早く、患者さんの負担が軽減される手術です。ロボット手術は、ロボット自身が自動的に動作をするのではなく、医師が行う腹腔鏡・胸腔鏡手術をロボットを活用してより精密に行う、完全に医師の操作によって実施される手術です。



ダビンチは、低侵襲技術を用いて複雑な手術を可能とするために開発された手術支援ロボットです。医師は、「サージョンコンソール」という患者さんとは離れた操縦席に座り、手元のコントローラーを操作します。するとその動きが、「パシエントカート」という患者さんのそばの機器のロボットアームに伝わり、より細かく精密な動きに変換されて、操作が進むのです。

ロボット支援下手術の特徴として

- ① 体への負担が少ない：腹腔鏡・胸腔鏡手術と同様に、数カ所の小さな切開部から手術を行うため、患者さんの負担が軽減されます。
- ② 鮮明な3D（3次元）画像：医師が操作するサージョンコンソールには、高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像が映し出されます。
- ③ 精密な動きを再現：ダビンチの器具は人間の手より大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えており、従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術よりも精緻な操作が可能です。

が挙げられます。また、ダビンチ手術は、世界中で1年間に約220万件（2023年）行われている実績があり、日本でも保険適用が広がったこともあって、さまざまな疾患に対して数多くの手術が行われるようになっていきます。



当院では、まず大腸がん、胃がんの手術でロボット支援下手術を行っています。従来の腹腔鏡手術より精緻な操作により、しっかりとリンパ節郭清を行い神経や他臓器の損傷を防ぐことで、手術後の根治性の向上や合併症の減少が期待できます。

先日、11月末に当院で初めてのロボット手術として、70歳代男性の大腸がん手術を行いました。骨盤の深い場所での難しい操作が必要でしたが、ロボット操作のおかげでスムーズに手術を進めることができ、出血もほとんどありませんでした。しっかりとした癌の手術ができ、手術後も合併症なく順調に回復されました。



今後、ロボット支援下手術を手術方法の選択肢として増やし、より多くの患者さんに、よりよい医療を提供したいと考えています。ご不明な点がございましたら、いつでもご相談ください。

公益財団法人JKA様より助成を受け訪問看護車両を購入しました

補助事業とは

公益財団法人JKA様では、自転車競技法及び小型自動車競走法に基づき競輪・オートレースの売上金の一部を財源に、機械振興、公益事業振興の各事業分野に補助を行ってられます。その補助の対象となる事業を競輪・オートレース補助事業と呼びます。また、補助対象事業は「補助方針」として毎年度策定され、JKA様のホームページ上でも公開されています。

この度、公益財団法人JKA様より、2024年公益事業振興補助事業で診療車両等の整備(訪問看護車両)を完了することができました。

当院の訪問看護は24時間体制をとっており、この車両整備により今後さらに円滑かつ迅速に実施できるものとなります。

事業名 2024年度 診療車両等の整備(訪問看護車両) 補助事業
補助内容 訪問看護車両 一式
補助金額 929,445円
実施場所 富山赤十字病院
完了年月日 2024年10月30日

公益財団法人 JKA
補助事業完了のお知らせ



理念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基本方針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全で高度な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利
- 6 子ども達が分かりやすく心のこもった医療を受ける権利

患者さんの責務

医療は患者と医療者との協同作業です。
より適正な医療提供のため、以下の責務について十分ご理解をいただき、ご協力をお願いします

- 1 ご自身の健康状態に関する正確な情報をお伝えください
- 2 医療者と力を合せて診療に参加し、最大限の治療効果を発揮できるようにご協力ください
- 3 病院のルールに従い、院内での迷惑行為は慎んでください
- 4 受けた医療に対し、診療費をお支払ください

皆さま の声

このコーナーでは、『皆さまの声』(ご意見箱)等にお寄せいただいたご意見・ご要望に対する当院の対応、お礼の投書についてお知らせします。(令和6年7月1日～令和6年8月31日回収分より抜粋)

投書箱は正面玄関・やすらぎホール・各病棟に設置しております。

ご意見・ご要望

◆毎回、午前予約の先生と午後予約の先生に診てもらっています。先生方は親切でよく診ていただけていますが、午前予約の診察が毎回午後予約より遅くなります。予約のとり方に問題があるように思われます。予約人数に問題があるのでしょうか？午後の予約にするわけにいかないのでしょうか？(結局毎回6時間滞在です)

「病院からの回答」

◇このたびは外来診療の待ち時間が長いため、ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございません。当院では外来診療の待ち時間を短縮するため、いろいろな対応を行っていますが、現在でも待ち時間が長いことで皆様にご迷惑をおかけすることがあります。ご指摘のように予約の取り方に問題がないか、また予約人数に問題がないか確認のうえ、対処いたします。また、待ち時間が長い医師に予約状況を確認の上、短縮を図るように指導してまいります。よろしくお願い致します。

ご意見・ご要望

◆看護師様同士の会話が、消灯後でもつつぬけです。急患などでない場合はご遠慮ください。

「病院からの回答」

◇医療者間の会話で療養中の患者さんに不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。オープンフロアであり、特に消灯後は音が響く環境にあります。休まれている患者さんの立場になり、夜間の声のトーンに注意し、引き継ぎ場所を工夫するなど検討していきたいと思っております。ご意見ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆面会時の対応めんどくさそうにされる。

「病院からの回答」

◇この度は面会時の対応でご不快な思いをおかけし、大変申し訳ございません。職員間で接遇について改めて考え、来院された方に誠意のある丁寧な対応を心がけるよう話し合いました。また職員同士でもお互い注意しあい改善できるよう努めてまいります。ご意見ありがとうございました。

ご意見・ご要望

◆「診察後の事務処理について」私は長い期間通院しています。現在は酸素ボンベを使用しています。事務処理で1～2時間待たされることが何度もありました。酸素の残量を気にして、出力量もギリギリで待っていました。事務担当の方は「がんばっています」と言われるだけです。仕事なので頑張るのは当然だと思います。現在の事務処理のやり方の見直しなど検討して欲しいです。長時間待たれるので、体調が悪くなり、家では寝込んでいます。

「病院からの回答」

◇このたびは患者さんの待ち時間が長時間になったことで、ご不便、ご心配をおかけし、大変申し訳ございません。今回のケースは、指導料の内容確認と修正に時間がかかったと思われます。病院としても受診内容により長時間の待ち時間が発生していることは把握しており、職員間での事務手続き作業の確認と見直しは適時行っております。それらに加え、医師・看護師などの他職種間の連携を図り、職員間の情報伝達・情報共有の緊密化を進め、待ち時間の短縮に努めてまいります。長時間の待ち時間で、体調が思わしくなければご遠慮なくお近くの職員にお声かけ下さい。職員からもお見掛けすれば声をかけさせていただきます。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

お礼の投書

●6F東病棟の看護師、スタッフの皆様
突然の入院で不安で心が折れそうだった私を気遣って優しく声をかけ接してくださり日々とても心強かったです。本当にありがとうございました。

お礼の投書

●ごちそうさまでした。とてもおいしかったです。真似て作ってみたいです。一品だけでも。

お礼の投書

●ばあちゃんをありがとうございました。

これからも患者様にご満足いただける病院づくりに、職員一同努めてまいります。



12月・1月健康教室等のお知らせ 患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください。【お問い合わせ】電話(076)433-2222 医療社会事業課(内線 2322)						
名称	内容	実施日 祝祭日除く	時間	場所	担当	申込窓口
やすらぎの会	ミニレクチャー がんリハビリテーションを学ぼう (講師:作業療法士)	12月18日(水)	14:00～14:30 交流会14:30～15:00	正面玄関 多目的室	がん相談スタッフ	申込不要
		1月開催なし				
ライラックの会	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	当面の間中止				
クロスサロンとやま	ピアサポーターによるサロン	1月15日(水)	13:30～15:30	正面玄関 多目的室	がん相談スタッフ	申込不要
がん相談支援センターでは、がんに関する相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。						
糖尿病指導コース (要申込)	運動の話と実技(実技は主治医の許可を受けてください)	12月12日(木)・26日(木) 1月9日(木)・23日(木)	14:00～16:00	正面玄関 多目的室	医師 検査技師 看護師 理学療法士 薬剤師 管理栄養士	外来通院の方 は内科外来 入院中の方は 病棟看護師
	検査の話 食事の話					
	病気の話 薬の話 生活の注意点 (第2水曜日のみ「口腔衛生について」)	12月11日(水)・25日(水) 1月8日(水)・22日(水)				
	屋食会	当面の間中止				
腎臓病教室 (要申込)	病気の話 食事の話 生活の注意点	12月19日(木) 1月16日(木)	14:00～15:00	正面玄関 多目的室	医師 管理栄養士 看護師	主治医
禁煙教室	ミニレクチャー 第五回 タバコは全身病 ～ニコチン依存症は病気です～ 禁煙外来ってどんな治療をするの？パート2 ～禁煙は病院を頼っていいんです～	12月20日(金) 1月17日(金)	15:00～15:30	健診センター	医師 看護師	申込不要
安産教室 (要申込)	笑顔で育児がスタートできる！パパ・ママクラス	12月6日(金) 1月31日(金)	13:00～14:30 14:30～15:30	正面玄関 多目的室 12月6日(金)・20日(金) 1月31日(金)・17日(金) zoom開催	助産師 管理栄養士 歯科衛生士	産婦人科 外来
	無痛分娩クラス					
	妊娠前半期クラス 元気な赤ちゃんを迎えるために整えよう身体と心	12月13日(金) 1月10日(金)	13:00～15:30			
	妊娠後半期クラス 赤ちゃんと一緒に！いいお産と母乳育児	12月20日(金) 1月17日(金)				
赤ちゃんのここにご飯 (要申込)	妊娠後半期クラス 赤ちゃんと一緒に！いいお産と母乳育児	12月27日(金) 1月24日(金)		正面玄関 多目的室	管理栄養士	栄養課
	食育教室 病院ホームページの『診療科・部門』>『栄養課』>『栄養管理、栄養指導の提供、チーム医療への参加』をご覧ください。	12月12日(木) 1月9日(木)	10:00～11:00			
のびのびサークル	母乳育児期間中の母子のつどい 病院ホームページの『出産』>『のびのびサークル(ママサークル)』をご覧ください。	12月25日(水) 1月22日(水)	10:00～11:30 (zoomへの入室は 9:40～)	正面玄関 多目的室又は 教育研修棟3階 講堂 zoom開催	自助サークル	病院ホーム ページ
赤十字 救急法基礎講習 救急員養成講習 (要申込)	一次救命処置(心肺蘇生・AED) / 搬送および救護 / 急病の手当/けがの手当(止血法・包帯法・固定法)	基礎講習: 12月7日(土)・1月11日(土) 養成講習: 12月15日(日)・22日(日)	9:00～16:30	日本赤十字社富山県支部	救急法 講習指導員	日本赤十字社 富山県支部 451-7878